

○ ジョコピ (地骨皮)



語源

地骨皮の名は、クコの根が骨のような形をしているため。

基原

クコ *Lycium chinense*
ナガバクコ *Lycium barbarum*
ナス科 落葉低木

薬用部分

根皮
クコは果実や葉も生薬として利用され、それぞれ「枸杞子(クコシ)」「枸杞葉(クコヨウ)」という。根皮は、秋に掘り上げて水洗い後、芯を除き日干しにして、生薬「地骨皮」として利用される。

産地

中国 (山西、河南など)

主な成分

ベタイン、アルカロイド(クコアミン、リシウムアミド)、リノール酸、 β -シトステロールグルコシド

主な薬効

漢方では清熱涼血・清虚熱・止血の効能があり、滋養作用のある解熱薬として結核などの慢性的な微熱や体力の低下に用いられるほか、盗汗、咳嗽、吐血、鼻血、血尿、糖尿病、高血圧などに応用される。吐血や血尿には新鮮な地骨皮の汁を用いることもある。

代表的処方

強壯薬として各種の処方に配剤される。

【滋陰至宝湯】

ジンシホウトウ
虚弱なものの慢性的咳、痰に用いる。
(処方内容) 当帰/香附子/芍薬/地骨皮/朮/麦門冬/茯苓/貝母/陳皮/薄荷葉/柴胡/甘草/知母

【清心蓮子飲】

セイシンレンシイン
胃腸が弱く、下半身が冷え、上半身がのぼせ、全身倦怠感があり、口や舌が乾き、尿量減少、尿の色が赤色になり、排尿困難を伴うものの次の諸症：残尿感、頻尿、排尿痛、精神過労、帯下、急性慢性淋疾、膀胱炎、腎盂腎炎、腎結核
(処方内容) 蓮肉/黄芩/麦門冬/黄耆/茯苓/地骨皮/人参/甘草/車前子

【黄耆鼈甲湯】

オウギベッコウトウ
慢性的咳嗽、胸部疾患に伴う発熱、慢性気管支炎、慢性のマラリア、肺結核の初期などに用いる。
(処方内容) 桑白皮/半夏/甘草/人参/桂皮/桔梗/地骨皮/知母/秦艽/紫苑/柴胡/黄耆/芍薬/鼈甲/地黄/天門冬/茯苓

文献報告

【肝保護・血圧降下】

Goji (*Lycium barbarum* and *L. chinense*): Phytochemistry, pharmacology and safety in the perspective of traditional uses and recent popularity

Planta. Med, 2010, 76, 7-19

【抗 菌】

Antimicrobial property of (+)-lyoniresinol-3 α -O-beta-D-glucopyranoside isolated from the root bark of *Lycium chinense* Miller against human pathogenic microorganisms

Arch. Pharm. Res, 2005, 28, 1031-6

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「日本薬草全書」「原色牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047 大阪市北区西天満1-5-11
TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562
URL: www.fukudaryu.co.jp